

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2021年
7月1日発行
No.493

July

7

今月の色:夏!ひまわり

こ う し ん こ う が い れ つ
特集 □唇□蓋裂ってなに? P-1

- インフォメーション P-3
- 診療科・センター紹介 形成外科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 言語聴覚士 P-6



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ

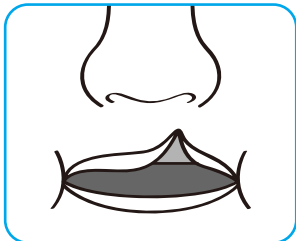


社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

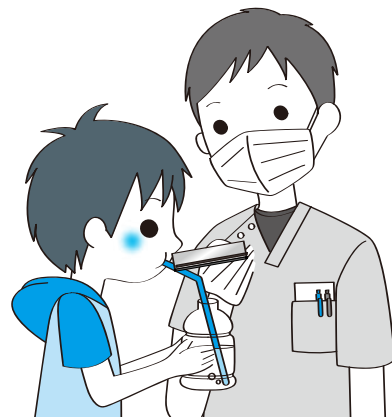
こうしんこうがいれつ 口唇口蓋裂って なに？

口 唇口蓋裂は、唇や喉（口蓋：口の天井部分）が生まれつき割れている病気です。母体内環境や遺伝的要因など、いくつかの要因が重なって発症するとされています。見た目の問題に加え、哺乳や言葉、歯並びに影響が出る場合があります。



治 療の流れはほぼ確立されており、適切な時期に治療を受けることで、多くの障害を取り除くことができますが、形成外科・矯正歯科・言語リハビリテーション・耳鼻咽喉科など複数の科が協力して診療にあたる必要があります。形成外科は主に手術を担当しますが、各科ときめの細かい連携を行うことで、より効果的に治療をすすめていくことができます。

- 1 口唇裂で生まれた赤ちゃんは、矯正歯科と相談して術前の矯正（PNAM）を行い鼻の形を整えることで初回の口唇鼻形成術に備えることができます。
- 2 4歳から5歳頃になると言葉の評価を行います。もし喉の機能が不十分な場合は、言語リハビリテーションと相談して言葉の練習を行っていきます。しばらく練習しても効果が見られない場合は、形成外科で咽頭弁形成術などの手術を追加で行い、小学校入学時にしっかりとした言語を獲得できるように準備をしていきます。



- 3 5歳から6歳頃に、今後生えてくる永久歯の状態をレントゲンで確認します。矯正歯科と相談し、最適な時期に形成外科で顎裂部（がくれつぶ 歯ぐき）の骨移植術を行い、将来きれいな歯並びになるように準備をします。

4 6歳を過ぎたころから、受け口が強くなり噛み合わせが悪くなる場合があります。矯正歯科と相談して矯正装具を使用しますが、それでも十分に矯正できない場合は、高校生以降に形成外科で顎矯正手術を行うように準備をしています。

□ 唇口蓋裂の患者さんの中には、鼻が扁平であったり湾曲したりといった症状が、特に10歳を過ぎてから強く出てくることがあり、成人してからも悩まれていることも少なくありません。単に口唇裂を治すという治療だけでは、この症状を良くすることはできません。斜鼻を直したり、鼻先を細くしたり、鼻を高くしたり、といった美容外科的なアプローチが必要になります。



文責：形成外科 部長 雑賀 厚臣

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル”で配信予定!



インフォメーション

2021年7月1日付で総看護部長に
岡村 奈緒美が就任いたしました
病院ホームページに就任のご挨拶を掲載しています。



7月から 一般外科と小児外科による「ヘルニアセンター」を開設

乳幼児から成人、高齢者まで、幅広い年齢層の鼠径ヘルニア、^{そけい}腹壁ヘルニアなどの診療を行います。

※詳しくは、ホームページをご覧ください ▶



夏到来! 熱中症を予防をしよう

! こんな方は熱中症になりやすいと言われておりますのでご注意ください

- 1** 高齢(80歳以上) **2** 心疾患 **3** 高血圧 **4** 糖尿病

次のことに気をつけましょう。

1 水分補給

最も大事。のどが渇く前に早めに水分補給。水分だけでなく塩分も失われるので薄めのスポーツドリンク、食塩を加えた水を補給しましょう。梅昆布茶や味噌汁でも塩分補給ができます。

2 暑い時に無理な作業はしない

草むしりなども短時間だけに。頑張りすぎない。

3 急な暑さに要注意

梅雨明けなどが慣れていないときに起こりやすい。

4 薄着

高齢者は厚着に注意。普段から薄着をするように努めましょう。



新任 医師紹介

小児外科
タイラ
平良 ゆりな
順天堂大学
(2018年卒)
※6月着任



口腔外科
ワタナベ ヨシコ
渡邊 賀子
新潟大学
(2002年卒)



形成外科



確かな技術でより美しく

当科は、口唇口蓋裂治療や乳房再建、頭頸部再建、リンパ浮腫治療に特に力をいれて診療しています。

当院は口唇口蓋裂の診療に必要な全ての科を擁しており、院内で治療を完結させることができるのが、大きな強みです。

また形成外科は美容外科でもあります。当科ではその特徴を十分に活かし、必要に応じて美容外科的な手技も交えながら、単に傷を治すだけでなく、より自信を持って生活ができるようご提案を心がけています。

リンパ浮腫治療では、医師と理学療法士、看護師がチームとなって複合的理学療法から手術も含めた総合的な治療を行えるように、新たに“リンパケア外来”をスタートしています。

文責：形成外科 部長 雑賀 厚臣(写真前列左)

診療を支える
スペシャリスト

言語聴覚士

正しい発音ができるようにサポート!



口唇口蓋裂のお子さん、手術をするまで発音しにくいお口(口唇と口蓋)の状態のため、話し始めや発音の習得が遅れることがあります。しかし、手術をすることでお口の状態が整うため、少しずつ習得しながら3歳頃には同じ年齢のお子さんに追いついていくと言われています。

言語聴覚士は、お子さんが「正しい発音の仕方」を覚えることができるように関わっています。5歳頃まではお口の状態や発音の習得状況の確認をしたり、家で行うお口の運動指導をしたり、全体的な発達の確認なども行っています。就学時に正しい発音ができるように、5歳以降に発音練習を行うこともあります。

定期的に通うことが難しい場合は、他病院の言語室・地域のことばの教室と役割分担をしながら関わっています。

お子さん一人一人の成長のために、お子さんとお両親が安心して治療を受けられるようにサポートしています。



文責：リハビリテーション部 石原 成典(写真)・春藤 健支



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067
(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ 現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長 岡 俊明